

令和6年度採用

群馬県公立学校教員選考試験問題

小学校教育に関する科目

受 験 番 号	小学校	氏 名	
------------------	-----	--------	--

注意事項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1ページから8ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と解答用紙の両方を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

1 小学校「国語」の第6学年「話すこと・聞くこと」の学習において、「スポーツ観戦をするなら、どのように観るのがよいか、友達の話を聞いて、自分の考えを明確にして伝えよう」について、次の学習計画に基づき、話し合う活動を設定した。後の（1）～（4）の問い合わせに答えてください。

目標	学習計画	学習活動
聞いたことをどのように生かすかなどの聞ことうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考え方と比較しながら自分の考えをまとめてみることができます。	第1時	スポーツ観戦の仕方について自分の考えを書く。
	第2時	同じ立場の児童3～4人と、根拠とした経験や特徴などについて話し合う。
	第3時	異なる立場の児童3～4人と、互いの立場や根拠について話し合う。
	第4時	第2、3時の話し合いをもとに、自分の考えを整理する。
	第5時	3～4人の班になり、単元の学習の振り返りをする。

- (1) 第2時において、意図をもって相手の話を聞くことができるようにならたい。目標を踏まえ、学級全体に対して、どのような助言をするとよいか、具体的に書きなさい。
- (2) 第3時において、教師は話し合いの場面でメモを児童に書かせた。これに加え、ICT端末の音声入力機能を用いて、話し合いの内容を文字として記録させた。教師のICT活用の目的について、学習計画を踏まえて書きなさい。
- (3) 次に示したもののは、第2時と第5時の話し合いにおいて、児童Aが発言した内容である。児童Aが自分の考え方の変容に気付き、本单元のまとめとして学習を振り返ることができるようにするために、どのような問い合わせをするとよいか、具体的に書きなさい。

第2時

私は、テレビ観戦がよいと思います。理由は、私が、スポーツにあまりくわしくないので、テレビならアナウンサーがしつかり解説してくれて、おもしろさがよく伝わるからです。



児童A

第5時

私は、テレビ観戦がよいと思います。理由は、私が、スポーツにあまりくわしくないので、テレビならアナウンサーがしつかり解説してくれて、おもしろさがよく伝わるからです。

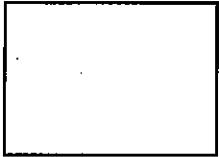
現地観戦がよいといふ友達の話を聞いて、同じチームを応援する仲間との一体感や、自分だけの目線で好きな選手を追いかけられるという考えもあることがわかりました。私も、スポーツをよく見るようになって、好きな選手ができたら、現地観戦をしてみたいと思うかもしれません。

しかし、私は、家族で気軽に見られることが多い、見逃してしまった場面をすぐにリプレイする機能があるから、テレビ観戦がよいと思います。

- (4) 本单元の学習を終えた後、目標とした資質・能力をより確実に身に付けさせるためには、どのような工夫が考えられるか、「機会」という語を用いて書きなさい。

2 小学校「社会」の第6学年「日本とつながりの深い国々」の学習において、日本と経済や文化などの面でつながりの深いアメリカ・中国・サウジアラビア・ブラジルの4か国の中から、児童一人一人が興味・関心等に基づき1か国を選択して、人々の生活について調べる活動を設定した。下の表は、サウジアラビアを選択した児童のワークシートである。後の(1)～(5)の問い合わせに答えなさい。

【児童のワークシート】

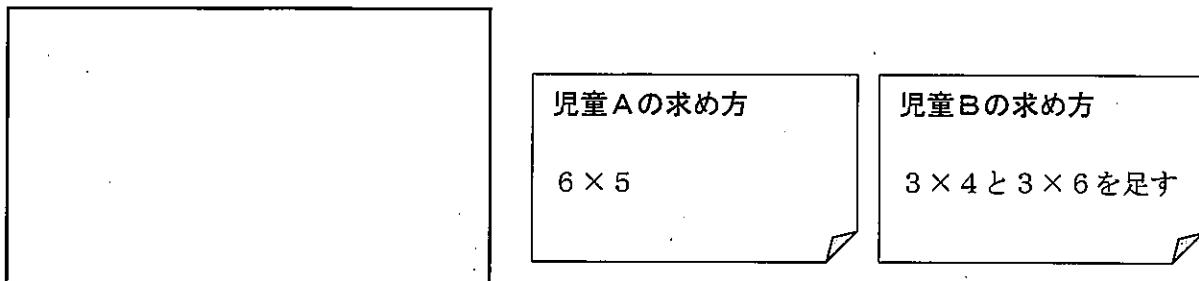
国名	サウジアラビア		
国旗		・真ん中にはイスラム教の聖典である（ア）の言葉が書かれている。 ・剣は、新月刀というアラブ民族のシンボル。 ・旗の色の緑は、イスラム教の聖なる色。	
くらし	衣服 食事の習慣 宗教	・男性はトーブという白い服、女性はアバヤという黒い服を着る。 ・ぶた肉を食べたり、お酒を飲んだりしない。 ・1日5回、聖地である（イ）に向かっていのりをささげる。	
学校	授業風景 授業料	・男女別々に勉強する。 ・公立学校では大学まで無料。	

- (1) 教師が、アメリカ・中国・サウジアラビア・ブラジルの4か国を取り上げた意図を、「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 社会編」の第6学年「内容の取扱い」（3）を踏まえて書きなさい。
- (2) 地球儀を用いて、日本とサウジアラビアとの関係について調べる活動において、児童に読み取らせたいことを1つ書きなさい。
- (3) (ア)、(イ)に当てはまる言葉を書きなさい。
- (4) 本単元において、4か国の人々の生活の様子について理解するために、考えられる体験的な活動を1つ書きなさい。
- (5) 本単元のまとめる過程において、児童のワークシートの記述を基に、日本と4か国の人々の生活の違いを捉える活動を設定した。その活動を通して、児童に気付かせたいことを2つ書きなさい。

3 小学校「算数」について、次の(1)、(2)の問い合わせに答えなさい。

- (1) 第2学年「かけ算」の学習において、図1のように箱に入っているチョコレートの個数を工夫して求める活動を行った。後の①、②の問い合わせに答えなさい。

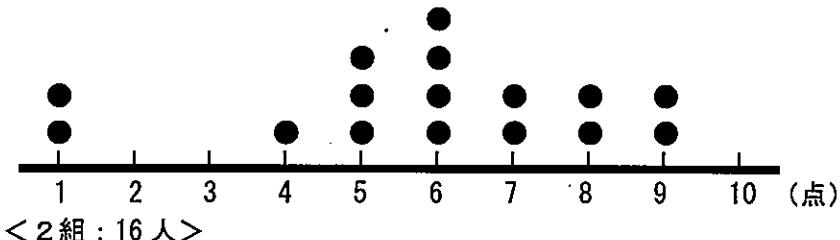
【図1】



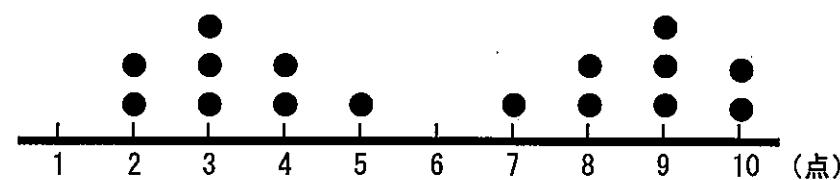
- ① 児童Aの求め方のように、乗法が使えるかどうかを判断する際に意識させたいことを書きなさい。
- ② 学級で求め方を共有する場面の最後に、教師は「 3×10 で求める」という考え方を取り上げた。一位数と二位数の乗法が未習である児童たちに説明するよう、児童Bの求め方と関連付けて、 3×10 の求め方を書きなさい。
- (2) 第6学年「データの活用」の学習において、「クラスリレーの作戦を平均値だけで考えてよいだらうか」という課題を設定し、新体力テストにおける男子の「50m走の得点」をドットプロットに表し、分析する活動を行った。後の①～③の問い合わせに答えなさい。

【「50m走の得点」をまとめたドットプロット】

<1組：16人>



<2組：16人>



【得点表】

得点	50m走の記録
10	8.0秒以下
9	8.1~8.4
8	8.5~8.8
7	8.9~9.3
6	9.4~9.9
5	10.0~10.6
4	10.7~11.4
3	11.5~12.2
2	12.3~13.0
1	13.1秒以上

- ① ドットプロットに表すよさを書きなさい。

- ② 課題の解決に向けて交流する中で、児童Cが中央値に言及した際、児童Dは「2組は6点の人がないのに中央値が6点なのはおかしい」と発言した。児童Dに理解させたい中央値の求め方を、データの個数に着目して書きなさい。
- ③ 次時以降、度数分布表と柱状グラフを学ぶ必要感を高めるために、教師は、扱うデータを「50m走の得点」から「50m走の記録」に変えた。「50m走の記録」がドットプロットでは分析しにくい理由を簡潔に書きなさい。

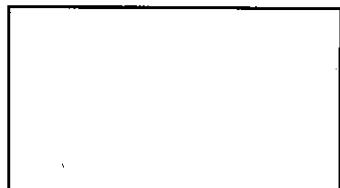
4 小学校「理科」の第3学年「物と重さ」の学習について、次の(1)～(3)の問い合わせに答えなさい。

- (1) 単元の導入において、見た目や手で持った感じで、身の回りにある物の重さを比較する活動を設定した。物の重さを比較する際に、初めから電子てんびんを使わずに、このような活動を設定した教師の意図を書きなさい。
- (2) 次に、「物は形が変わると重さは変わるのだろうか」という問題を設定し、図1のように電子てんびんを用いて粘土を様々な形に変えたときの重さを比較した。児童が考えた方法で実験する際、正確に重さをはかるために注意することを2つ書きなさい。

【児童が考えた方法】

- 1 はじめの形（四角）のまま、ねん土の重さをはかる。
2 形を変えて、ねん土の重さをはかる。
ア 丸くしたとき イ 細長くのばしたとき
ウ 平たくのばしたとき エ 小さく分けたとき

【図1】



- (3) さらに、「同じ体積でも、物の種類が違うと重さは違うのだろうか」という問題を設定し、以下の2つの実験を行った。後の①、②の問い合わせに答えなさい。

実験1

砂糖と食塩を、計量スプーンで1杯ずつとり、それぞれカップに入れて電子てんびんで重さをはかる。

実験2

同形、同体積の鉄・アルミニウム・銅・木・ゴムを用意し、電子てんびんで重さをはかる。

- ① 実験1の下線部の操作で、砂糖と食塩の体積をそろえるには、どうしたらよいか書きなさい。
- ② 実験2で用意した物のうち、最も重いのはどれか書きなさい。

5. 小学校「音楽」の第3学年において、「春の小川」を教材にして、「表現（歌唱）」の学習を行った。後の(1)～(3)の問い合わせに答えなさい。

(1) アの部分の階名と歌詞を書きなさい。

(2) イの記号の表す意味を書きなさい。

(3) 曲を聴いた後、教師と児童とで以下のようなやりとりが行われた。下線部の活動をする際に、「音の高さや動き」について実感を伴って確認できるようにするための手立てを書きなさい。

教 師：曲を聴いてどんなことに気付きましたか。

児童A：なんとなく、3段目の雰囲気が変わる感じがしました。

教 師：どうしてそのように感じましたか。

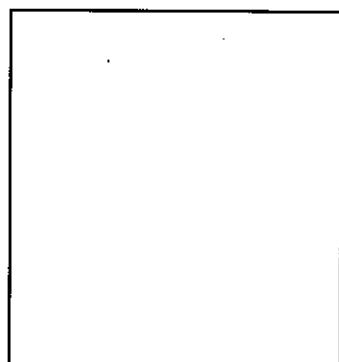
児童B：音の高さかな…。

児童C：音の動きじゃないかな…。

教 師：では、2段目と3段目を階名で歌って確かめてみましょう。

6 小学校「図画工作」の第2学年において、児童がカラーセロハンを重ねたり組み合わせたりすることで、色々な色や形の見え方を楽しむ鑑賞「ひろがる いろの せかい」という題材を設定した。後の(1)～(3)の問い合わせに答えなさい。

過程	本時（1／1）の学習内容等
出会う	重ねてできる新しい色や形に気付く。
確かめる	重ねながら、見え方が変わる面白さを感じ取る。
広げる	見付けた色や形を伝える。
振り返る	色や形の見え方を見付けることを楽しむ。



<児童の活動の様子>

- (1) 本題材において、絵の具やクレヨンではなく、カラーセロハンを材料とした教師の意図を書きなさい。
- (2) 「確かめる」過程において、児童が活動しながら自然に鑑賞できるような学習環境の工夫を書きなさい。
- (3) 本題材に限らず、1つの題材において、造形活動と鑑賞活動が往還するよさについて書きなさい。

7 小学校「家庭」の第5学年「調理の基礎」の学習において、「自分や家族の好みに合ったおいしいごはんやみそ汁をつくるには、どのようにするとよいのだろう」という題材の課題を設定し、学習を進めた。次の(1)～(3)の問い合わせに答えなさい。

- (1) 米飯の調理では、ガラス鍋を用いて炊飯することとした。ガラス鍋を用意した教師の意図を書きなさい。
- (2) 自分の好みの味を見つけるために、複数の材料を用いて、和食の基本となるだしをとることとした。授業で扱うだしの材料を2つ書きなさい。
- (3) みそ汁の調理では、火の通りにくい物から加熱するため、いちょう切りの大根、短冊切りの油あげ、小口切りのねぎの順番で実を煮る。ねぎを最後に入れる理由について、「火の通りやすさ」の他に、児童に理解させたいことを書きなさい。

- 8 小学校「体育」の学習について、次の(1)、(2)の問い合わせに答えなさい。
- (1) 第3学年「水泳運動」の単元の導入で、水に浮かせたところ、水に対する恐怖心を抱いてすぐに立ってしまう児童が複数いた。そのような児童の恐怖心を和らげ、意欲的に取り組めるようするため、教師はどのような指導の工夫をするとよいか。具体的に書きなさい。
- (2) 第5学年「けがの防止」について、次の①、②の問い合わせに答えなさい。
- ① 学校生活の事故におけるけがを防止するために、授業のはじめに学校内の廊下や階段で児童が歩行している様子を収めた動画を提示することとした。その意図を具体的に書きなさい。
- ② 登下校における犯罪被害を防止するために、どのような児童の行動を取り上げるとよいか。具体的に書きなさい。

- 9 小学校「生活」の第1学年「はなとなかよし」の学習において、単元の目標を以下のように設定して、種をまいて世話をし、成長の様子を記録したり、花を使った遊びを楽しんだりする活動を行った。後の(1)～(3)の問い合わせに答えなさい。

<単元の目標>

アサガオを育てる活動を通して、アサガオの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、成長していることに気付くとともに、アサガオに親しみをもち、植物を大切にできるようにする。

- (1) この単元の学習で栽培する植物として、アサガオを選んだ教師の意図を、<単元の目標>を踏まえて書きなさい。
- (2) アサガオを栽培することへの児童の興味や期待感を高めるために、単元に入る前や単元の導入時に行いたい工夫を1つ書きなさい。
- (3) 生活科は、他教科等との関連を積極的に図り、互いの教科等における学習効果を高めることができる。この単元の学習と他教科等の学習をどのように関連付けることができるか、関連させる教科等と具体的な学習活動を答えなさい。

10 小学校「外国語」の学習について、次の(1)、(2)の問い合わせに答えなさい。

- (1) 第6学年「日本を紹介しよう」の単元において、日本に来たばかりのALTに、日本の行事や食べ物などについて、作成した発表資料を用いて紹介する活動を設定した。以下は、単元末にALTに紹介している児童の様子である。後の①～④の問い合わせに答えなさい。

【北海道について紹介している児童の様子】

(ALTに向かって)

Hello. I'm Taro.

ア ?

(発表資料を画面に映して)

We (イ) a special snow festival in Hokkaido.

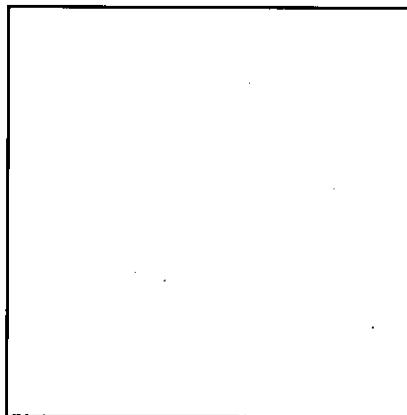
You (ウ) see many big snow statues.

You (ウ) enjoy eating delicious *sushi*, too.

Noboribetsu onsen is a famous hot spring.

We (イ) many famous hot springs in Hokkaido.

Thank you.



<児童の発表資料>

- ① ア は、聞き手に対して、冬が好きかを質問する表現である。4語で書きなさい。
- ② (イ)に入る、「～がある」という意味の1語を書きなさい。
- ③ (ウ)に入る、「～できる」という意味の1語を書きなさい。
- ④ 単元のまとめとして、自分が紹介した内容を基に、英語で紹介文を書く活動を行った。その際の指導上の留意点を書きなさい。
- (2) 「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編」話すこと【やり取り】において、児童が、相手が言ったことを繰り返したり、応答したり、質問したりする表現を使いながら、やり取りを継続できるようにするための指導の工夫を書きなさい。

小学校教育に関する 科目 解答用紙	2枚中の1	受 験 番 号	小学校	氏 名		※ (6年)
-------------------------	-------	------------------	-----	--------	--	-----------

※欄には記入しないこと

1	(1)					※	※	
	(2)					※		
	(3)					※		
	(4)					※		
2	(1)					※	※	
	(2)					※		
	(3)	ア		イ		※		
	(4)							
	(5)					※		
3	(1)	①					※	※
		②					※	
	(2)	①					※	
		②					※	
		③					※	
4	(1)					※	※	
	(2)					※		
	(3)	①						※
		②						※

小学校教育に関する 科目 解答用紙	2枚中の2	受 験 番 号	小学校	氏 名		※	(6年)
-------------------------	-------	------------------	-----	--------	--	---	------

※欄には記入しないこと

5	(1)	階 名			歌 詞		※	※	
	(2)						※		
	(3)						※		
6	(1)						※	※	
	(2)						※		
	(3)						※		
7	(1)						※	※	
	(2)						※		
	(3)						※		
8	(1)						※	※	
	(2)	①					※		
		②					※		
9	(1)						※	※	
	(2)						※		
	(3)						※		
10	(1)	①					※	※	
		②			③				※
		④							※
	(2)								※

以下はあくまでも解答の一例です

小学校教育に関する科目 解答用紙	2枚中の1	受験番号	小学校	氏名		※ (6年)
---------------------	-------	------	-----	----	--	-----------

※欄には記入しないこと

1	(1)	自分の意見を確かなものにするために、理由をたくさん集めましょう。 など (8点)					※	※
	(2)	実際に話し合った内容を文字として可視化することで、第4時に計画している、自分の考えを整理することがより具体的なものになる。 など (8点)					※	
	(3)	・自分の考えをはっきりさせるために、誰のどのような発言が役立ちましたか。 ・自分の考えをはっきりさせるために、どのような聞き方が効果的でしたか。 など (8点)					※	
	(4)	・他教科等の学習において、本単元で学習したことを繰り返し用いる機会を設定する。 ・学校生活において、本単元で学習したことを実践する機会を設定する。 など (6点)					※	
2	(1)	・特定の地域に偏らないようにするため。 ・文化や習慣に多様性が見られるようするため。 ・調べる資料の量に大きな違いが生じないようにするため。 など (5点)					※	※
	(2)	・日本との位置関係 ・日本からの距離 ・国の大きさ など (4点)					※	
	(3)	ア コーラン (2点)	イ メッカ (2点)				※	
	(4)	・衣服を着る。 ・料理を作る、食べる。 ・人気の遊びをする。 など (4点)						
	(5)	日本とつながりが深い国の人々の生活は多様であること。 など (4点)					※	
3	(1)	①	同じ数のまとまりが複数あるかどうかを考える。 など (6点)					※
		②	児童Bは上と下に分けて 3×4 と 3×6 の足し算で求めたが、下のチョコレートを上のチョコレートの右に動かすと 3 のまとまりが 10 個あることになるので、 3×10 と同じだと考えられる。 など (6点)					※
	(2)	①	・データの散らばりの様子が捉えやすくなる。 ・代表値の意味が捉えやすくなる。 など (6点)					※
		②	・2組はデータの個数が偶数なので、真ん中にある2つの値の平均を求める。 ・2組はデータの個数が偶数なので、 $(5+7) \div 2$ で求める。 など (6点)					※
		③	扱うデータが小数で細かくなるため、各点が積みあがることが少なく、まばらに広がってしまいうから分析ににくい。 など (6点)					※
4	(1)	体験的な活動を取り入れ、実感を伴いながら、予想など、理科の学習の仕方を身に付けられるようするため。					※	※
	(2)	小さく分けるときには、粘土の破片が落ちたり、手についたりしていないか確認させる。 (5点)					※	
	(3)	重さが変わってしまうため、薬包紙を必ずのせる。 など (5点)					※	
	(3)	①	多めにのせてから、割り箸で盛り上がった部分を平らにすり切る。 など (5点)					※
		②	銅 (5点)					※

以下はあくまで解答の一例です

小学校教育に関する 科目 解答用紙	2枚中の2	受 験 番 号	小学校 名	氏 名	※	(6年)
-------------------------	-------	------------------	----------	--------	---	------

※欄には記入しないこと

5	(1)	階名 ララソミレミド	(3点)	歌詞	れんげのはなに	(3点)	※	*
	(2)	息つき(ブレス)をする。				(3点)	※	
	(3)	・楽譜の音符を指でなぞって、音の高低を捉える。 ・音の高低に合わせて、手の高さを上下させる。 など				(6点)	※	
6	(1)	・低学年では、触って感じ取ったり考えたりすることが重要であり、簡単に何度も重ねたり組み合わせたりできるから。 ・材料に触れ、見たり感じたりすることそのものを楽しむような活動が大切であり、簡単に何度も重ねたり組み合わせたりできるから。 など				(5点)	※	*
	(2)	・材料や用具の置き場を考慮し、取りに行って戻る途中に友人の活動や作品が目に入るようする。 ・教室の席を班の形にして、互いの活動や作品が目に入るようする。 など				(5点)	※	
	(3)	・表現と鑑賞は本来一体であり、相互に関連して働き合うことで児童の資質・能力を育成することができるから。 ・児童が表現したこと、自分で味わったり、友人と交流したりすることにより、表現が深まったり、広がったりするから。 など				(5点)	※	
7	(1)	なべの中の様子を観察し、米が米飯になるまでの変化を捉えられるようにするため。 など	(3点)				※	*
	(2)	・煮干し ・昆布 ・かつお節 ・干しこいたけ ・あご (とびうお) などから2つ (2点)				(2点)	※	
	(3)	色やかおりを大切にする実は最後に入れること。 など				(3点)	※	
8	(1)	・低学年で行った水遊びに取り組ませる。 ・ゲーム的な要素のある運動に取り組ませる。 など				(5点)	※	*
	①	身近な学校生活の事故に気付くことができるようするため。 など				(5点)	※	
	(2)	② 犯罪が起こりやすい場所を避けること。 ② 犯罪に巻き込まれそうになったらすぐに助けを求める事。 など				(5点)	※	
9	(1)	・低学年の児童でも栽培が容易だから。 ・・成長の様子や特徴が捉えやすいから。 ・確かな実りを実感でき満足感や成就感が得られる花だから。 など				(3点)	※	*
	(2)	・アサガオの絵本を読み聞かせする。 ・・きれいに咲いたアサガオの花の写真を見せる。 ・2年生からアサガオの種をプレゼントしてもらう場を設定する。 など				(3点)	※	
	(3)	・音楽科のリズム遊びを生かして、アサガオの世話や成長に感動した気持ちをリズムで表現する。 ・算数科の数を数える学習を生かして、アサガオの種や花の数を数える。 など				(4点)	※	
10	(1)	① Do you like winter				(4点)	※	*
		② have	(4点)	③ can		(4点)	※	
		④ 例となる語句や文を示す。 ・・紹介文を書く目的をもたせる。 ・・十分な時間を確保する。 ・毎時間作成したワークシートや教科書、発表資料を参考にできるようする。 など				(6点)	※	
	(2)	・教師が児童（ALT）と身近な話題について英語を使って簡単なやり取りを行う機会を継続的にもち、その中で教師が当該表現を意識的に繰り返し使用する。 ・やり取りを継続するために必要な表現を児童が出し合う場を設定し、実際のやり取りをする活動を設定する。 など				(7点)	※	